

平成31年5月定例教育委員会会議録

平成31年4月26日 定例熊谷市教育委員会を教育委員会室に招集する。

- 出席者
野原 晃、加藤 道子、齋藤 洪太、本塚 雄一郎、西山 富由紀
- 出席事務局
教育次長 小林 教子
教育総務課長 田島 斉
教育総務課
保健給食担当副参事 馬場 伸夫
学校教育課長 渋谷 昌美
社会教育課長 鶴田 敏男
社会教育課文化財保護・
市史編さん担当副参事 吉野 健
中央公民館長 森田 安彦
文化センター所長 田中 博
教育総務課副課長 長島 千恵
教育総務課主任 吉場 美和

13時30分 5月定例教育委員会開会

教育長が、平成31年5月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、傍聴希望者1名の入室が許可された。

教育長が、本日の会議の会議録の署名人に、本塚委員を指名した。

教育総務課長から、3月臨時及び4月定例教育委員会の会議録については、6月定例教育委員会において、承認いただけるよう作成中である旨の説明があった。

教育長から、議案第21号及び議案第22号は、人事案件等のため非公開とし、会議録に載せない旨の発議があり、出席委員全員が賛成し非公開で行われることに決定した。

日程第1(報告第5-1号) 寄附申出について

文化センター所長から、美術品として、熊谷図書館に、100,000円相当の奥原晴湖他4人の席画(宴席や会合の席上で、求めに応じて即興的に描いた絵画)の寄附申出があったとの説明があった。

教育次長から、「わたしの歯っぴーファイル」は、小学1年生に配布し、その後6年間使えるようになっているとの補足説明があった。

日程第1（報告第5－2号）5月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、5月31日開催予定の6月定例教育委員会の開催場所が成田小学校に変更になったこと及び10月並びに2月定例教育委員会についても、学校を会場として開催する予定であり、会場が決まり次第案内するとの説明があった。

また、7月16日開催予定の埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会について日程を再掲しており、後日、各委員の出欠席確認をする旨の説明があった。

教育次長から、学校は10連休であるが、図書館等文化センター各施設は全日開館するとの説明があった。

学校教育課長から、例年より5月の連休日数が多いことについて、夏休み期間、午前中のみ授業の日の午後、開校記念日などを利用し、授業実日数は確保されているとの説明があった。

本塚委員から、連休中の緊急時の連絡体制についての質問があり、教育次長から、迅速に対応できるよう確認済みである旨の説明があった。

西山委員から、学校教育課行事予定の「通信陸上熊谷市予選会」について質問があり、教育長から、全国の中学校の記録会であるとの説明があった。

日程第1（報告第5－3号）平成32年熊谷市成人式開催要領について

日程第1（報告第5－4号）成人年齢引き下げ後の成人式について

社会教育課長から、平成32年熊谷市成人式は、式典内容や進行、運営等については例年のおおりで、1月12日（日）に、くまがやドーム体育館で開催予定で、対象は平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた市内在住の方及び市内中学卒業生等であることの説明があった。

続けて、2022年4月の成人年齢を18歳に引き下げる改正民法施行後の熊谷市の成人式の実施について、対象年齢は「対象年度に20歳となる者」、式典の名称は「熊谷市成人式」、内容もこれまで同様の形式で開催することについて説明があった。

西山委員から、成人年齢が18歳に引き下げられるが、式典が「成人式」という名称は適切かとの質問があり、教育長から、成人としての式典を20歳で行うものであるから「成人式」とする旨の説明があった。

本塚委員から、実行委員会の予算の所管についての質問があり、社会教育課長から、実行委員会は式典の運営等を行い、事務局が市の予算を執行している旨の説明があった。

本塚委員から、実行委員会の中で予算執行させてみるのも、社会に出るための訓

練になるのではないかとの意見があった。

日程第 2（議案 19号）熊谷市立文化センター条例施行規則の一部を改正する規則

文化センター所長から、3月臨時教育委員会において文化会館施設に付随する設備使用料改定に係る同規則の一部改正について議決いただいたところだが、様式第2号及び様式第5号についても同様の改正が必要だった旨の説明があった。

特に質疑はなく、原案どおり可決された。

日程第 2（議案 20号）熊谷市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則

文化センター所長から、熊谷図書館について、月曜日は通常休館日だが、小中学校の夏休み期間は、試行ということで平成20年度から開館をしてきたところで、市民の間でも十分に定着してきたため、試行でなく正式に実施するために整備を行う旨の説明があった。

特に質疑はなく、原案どおり可決された。

日程第 2（議案 21号）及び（議案 22号）

（非公開）

（議案は原案どおり可決）

（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、3月16日から4月15日までに、17件の事業について後援等承認決定したとの説明があった。

（その他）英語教育実施状況調査について

学校教育課長から、4月16日に文部科学省が公表した今年度の結果について、全国1位の福井県に迫る限りなく日本一に近い結果であり、引き続きラウンドシステムで努力していくとの説明があった。

（その他）熊谷市史資料編 8 近代・現代 3（妻沼地域編）の刊行について

社会教育課文化財保護・市史編さん担当副参事から、本編の4巻目として、刊行部数は1,200部で、販売価格は3,000円を予定している旨の説明があった。

西山委員から、どこで販売するのかとの質問があり、社会教育課文化財保護・市史編さん担当副参事から、市史編さん室、社会教育課、江南文化財センター、熊谷図書館、八木橋百貨店の須原屋書店、市内肥塚の戸田書店での販売となるとの説明があった。

（その他）私立及び県立学校等に通っている熊谷市在住の小・中学生対象ラグビーワールドカップ観戦チケットの補助金制度について

学校教育課長から、令和元年度に私立及び県立学校に通っている市内在住の小中学生に対するチケット代の補助制度である旨の説明があった。

（14時40分 閉会）

署名 教育長 野原 晃

委 員 本塚 雄一郎

